

AVEX magazine

MARCH!

March
vol.151

3



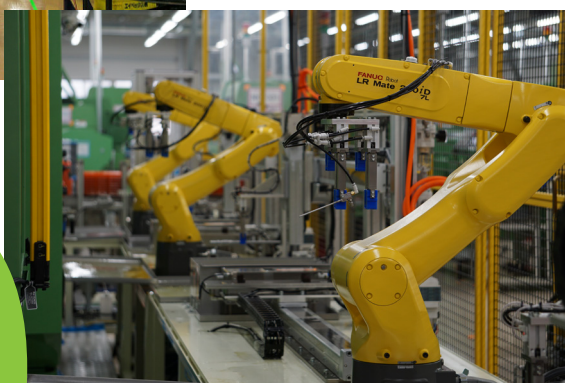
to

from past



100年企業

への道



会長・社長スペシャル対談 Vol.02

BEYOND



会長は1984年37歳の時に、社長は2010年35歳の時に社長へ就任していますが、その時のエピソードを教えてください。

会長：この時はまだ町工場で業績もあまり良くなく、人もとれない時代でした。当時は高校生採用が主でしたが、油のしみ込んだブロック塀にのこぎり屋根の工場、保護者が工場の外観だけを見て「この会社に子供を入れたくない」と思われていました。お客様もアイシンさん一社からの売上で、指示を受けて淡々と生産をしていた時代でしたね。何とか切り抜きたい思いで、1代目を名乗れないため自分を1.5代目と標榜し、1992年に加藤精機株式会社からエイベックス株式会社へ社名変更をしたことが会社発展の一つの転機となりました。その時、同時に本社の第一工場を建て直し、工場の硬いイメージではなく屋根をR形状にして柔らかい印象にしました。第一工場の入口に土間をつくり、「スリッパに履き替えて、顧客を案内する」という工場づくりをしたことで、顧客には安全で清潔、ユニークな工場として評価され、学校からは採用が進むきっかけにもなっていました。

社長：ありがたいことに一般的には早いタイミングで社長へ就任しました。入社時の2000年には2010年ビジョンで売り上げ50億円を目指していました。10年後、2010年の社長就任時、2020年ビジョンである【切削研削を極める】【中長期経営計画で売上100億を目指す】【社長

を5名つくる】ことを目標に掲げて意気込んでいました。

社長就任以来13年間を振り返り、どのように感じておられますか。

社長：いろんなことが経験できた13年でした。本当に恵まれていたと思います。ただ次の10年はそういうわけには行かないと思います。今後は経営者としての腕を試されることになると思っています。今までは、皆さん（顧客、従業員、仕入先、地域社会）のおかげでここまでやって来ましたが、今後は自動車の電動化への影響や、自動車業界における100年に1度の大変革期など、経営が困難になると覚悟しています。

会長就任以来13年間は、会社がどのように成長してきたと感じておられますか？

会長：会社の体制として、組織運営ができるようになってきたと思います。自分の社長時代には、従業員がトップの指示を仰ぎながら行動していたんだけど、今は従業員自ら考えて行動している。全社一丸となって経営ができていて、個人も会社も成長してきたと思っています。あとは、会長になってから基本的な経営は社長に任せ、私は外部（愛知中小企業家同友会代表理事・会長、官庁関係からの施策の情報交換、大学の講義等）から得た情報や感じたこと等をエイベックスへ還元できるようにしています。

本社第三工場・多度工場増設・先進工場操業と加藤社長の時代に新しい工場が続々と立ち上がりました。その取り組みについてどのような思いで経営の舵取りをされましたか？またターニングポイントとなった出来事は何でしたか？

社長：2008年のリーマンショックが会社の一番の転機となりました。リーマンショックで仕事が落ち着いている間に新規営業にまわった先の多くが、この10年でエイベックスの顧客として繋がっていきました。顧客がいなければ仕事は無いですし、仕事が無ければ、工場を増やすことはないので、顧客があつてこそだと思っています。

時代が変わっても守り続けたい【創業の精神】は何でしょうか。

会長：変えてはいけないものは社長がしっかり理解してくれています。過去の成功体験に浸っていても意味が無いので、変えていかなければならないものは社長がどんなかえていけばいいと思っています。経営理念である「良品を生産すること」の重要さは、先代のころからの社員である久野さん、守さん、山下さん(*1)が一番分かってくれていると思います。技能技術の構築をして、その古参社員から若手社員へと引き継いでいってほし

いですね。手に職をつけると自信にもなるからね。【創業の精神】といえ、先代からは「すぐモノを買わない！」と言われていましたよ。「なんでも自前でやれ！」とも。製品が現場に落ちていると、「お金（製品のこと）が落ちてるぞ」と従業員へ声をかけ、「モノを大事にしろ、なぜ落ちていることに気付かないのか、勿体ないぞ！」と従業員にモノの価値についてよく言い聞かせていました。今でこそカーボンニュートラルが大きく取り上げられますが、うちは創業当時から【もったいない運動】や【2S（整理整頓）の「整理」で要らないものは棄てるのではなく、そもそも買わない】という考え方の風土が根付いていると思います。あとは今の従業員が常に意識し、徹底することが大切ですね。

また子会社（森安 イクシー）が創業し本体に及ぼす影響やどのような相乗効果を期待していますでしょうか。

社長：「社長を5名つくる」というのが社長就任時の目標のひとつ。エイベックスに入社してきてほしいと思います。社長をやりたいと思える人、同じ仲間を作っていくという面でも、この子会社化の動きは私も勉強になっています。

そもそも、なぜ子会社化していこうと考えたのですか？

社長：ももとの経営ベースである「自ら考えて行動する、自分で責任を取る」という考え方を具現化するとしたら、社長になることが一番良いと思ったのです。私自身は、この会社を次に繋げていくための繋ぎであると思っています。



加藤家に生まれて、たまたま社長をやらせてもらっていますが、自分で力を発揮でき、自分にはない力を発揮してもらえると、もっと子会社が増え、新しい社長を育てていけると思っています。

今後、期待している社内の動きを教えてください。

社長：自前化推進プロジェクトが中心に行っている設備の外販化や、技術グループのメンバーが取り組んでいる刃具の再研の動きがカタチになりつつありますよ。

会長：各部署が専門性をもっと強化していき、そこから発展した各子会社がエイベックスの本体を支えながら共育ちをしてほしいです。その子会社の社長がマネジメントについて学ぶことにより人間的に成長されることを心より期待しています。

エイベックスが同業他社に負けられないだろうというアピールポイントを教えてください。

社長：働いてもらっている従業員です。毎年の新卒新入社員研修ではたくさん協力会社が集まってアイシンさんの研修に参加しています。そこで「エイベックスの社員は感じが良い」と言ってもらえることが多く、外部の人から評価してもらえて非常に誇らしいです。また、工場見学で生き生きと働く従業員ときれいな現場を見てもらえる。ゼロゼロ発表会(*2)で改善もしている。こ



ういったことを継続していかねばならないですね。そして、産休明けで働いてくれている人たちは、本当に尊敬します。子育てしながら働く、というのは自分には絶対にできないので…。

会長：その通り！そういう風土を自分たちで作り上げていかねばならないね。経営会議でいつも伝えることですが、自分だけが成長するのではなく、お互いの強みを生かし、弱みを補いながら自分の存在価値を認識する風土を築き上げていってほしいですね。そういう精神があれば働き甲斐に繋がるし、ゼロゼロ発表会のカイゼンの積み重ねはエイベックスの強みであり宝物ですね。

本日はありがとうございました。最後にエイベックスでは1ヶ月に上限2,000円までの購読本補助が出て読書が継続的な目標に掲げられていますが、お二人の愛読書やオススメがあればお聞かせください。

会長：私の推薦図書は稲盛和夫さんの「成功への情熱」です。もともと、人を大事にする経営思想があるので、稲盛さんや松下幸之助さんの本は従業員への思いが強く共鳴できる部分が多いです。

社長：私は元プロ野球監督の野村克也さんや落合博満さんの本を読むのが好きですね。プロとして、厳しい環境の中で、どのように采配するのか、監督としてどう人を育て、結果に繋げていくのかを楽しみながら読んでいます。

*1：初代社長と共に創業当時から働いてくれている久野アドバイザー、保全改善チームの加藤守さん、山下敏夫さん。社内報 MARCH2022.07号 (Vol.143) にて特集

*2：ゼロゼロ発表会というカイゼン活動の発表会。年間12回発表があり、各部署でカイゼン活動が進められています。



代表取締役会長

加藤 明彦

かとうあきひこ

① 思い入れの場所は？

北海道です。学生時代に大阪から鉄道にのって北海道へ！男4人で23日間の道内一周旅行をしたことがきっかけで好きな場所になりました。

② 休日の過ごし方は？

読書、新聞を読むこと、YouTubeで気になる講演を視聴すること。稲盛和夫さんや他の経営者についてもうまくまとめてあるので、時間を忘れてみてしまいます（笑）

③ 「私の自慢」を教えてください。

鉄道です！子供のころから今現在も楽しみの一つです。小学生のときに鉄道模型にはまり、写真（撮り鉄）、ステレオ（音鉄）と、鉄道を中心に趣味の域を広げました。



代表取締役社長

加藤 丈典

かとうたけのり

① 思い入れのある場所は？

多度大社です。家から近く、森林に囲まれていて心の落ち着く場所です。

② 休日の過ごし方は？

子供と多度、長島の図書館に行き、スガキヤでラーメン食べるのが好きなコースです。

③ 「私の自慢」を教えてください。

地元桑名市です。自然豊かで、住みやすく、長島リゾートもあり、生活するには最高の場所です。唯一大変なところは年二回くらい降る雪ですね。。。坂も多いですし、車必須の生活なので冷や冷やします。



AVEX 社内外での活動や出来事をご紹介！ Breaking News

1/18・19

守山養護学校実習

1月18日(水)19日(木)の2日間、名古屋市立守山養護学校1年生のお二人が、名古屋工場へ実習に来てくれました。学校ではものづくりについて学んでいるようで、2日目の午前中は保全改善チームの山田 SL に教えてもらい、図面をかく業務にあたりました。1日目の反省(大きな声での挨拶や中間報告)を2日目に改めて意識して行動することで、充実した実習期間を過ごせたようです！また後輩の皆様もお待ちしております！

※ SL：サブリーダー



1/18・25

技能員・検査員ゼロゼロ発表会(中間)

1月18日(水)と25日(水)に名古屋工場・多度工場・先進工場にて、技能員・検査員ゼロゼロ発表会の中間発表が開催されました。改善発表者の皆様お疲れ様でした。最終発表は4月実施の予定ですので、引き続き活動の推進・発表の準備等よろしくお願いたします。



2/9

名古屋学院大学業界セミナー

採用活動で名古屋学院大学の名古屋キャンパスに行ってきました。毎年多くの学生がエイベックスの説明会に参加してくれるので、説明する側も気合が入りますね！この説明を聞いて、工場見学や選考に進んでくれる学生がいっぱいと良いですね。

2/15

中部大学学内業界研究会

中部大学で業界研究会に参加してきました。説明していくなかで、実際に工場見学を希望してくれる学生さんもいました！工場見学でよりエイベックスの魅力をお伝えできるかと思えます。是非、工場見学へお越しくださいませ。



2/16

愛知工業大学企業研究会

愛知工業大学の企業研究会に行ってきました！春休みの中、学生さん達がたくさんブースに来てくれました。まだまだ就職活動は始まったばかりですが、皆さん熱心に話を聞いて質問してくれたので、我々採用メンバーも熱意を持ってお答えしました！



NEXT UP

次月のお知らせ

今後予定されている出来事やイベントの情報をこちらでご紹介します！

01

3/1・8 同友会関係者様工場視察

3月1日(水)・8日(水)にて多度工場・先進工場での見学が実施予定です。2Sや挨拶等ご協力のほどよろしくお願いいたします。また、海外からの視察も徐々に戻りつつあります。ご不便等おかけいたしますが、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

02

3/15・21 製造役職者ゼロゼロ発表会(最終)

3月15日(水)名古屋工場、3月21日(火)多度工場・先進工場にて製造役職者ゼロゼロ発表会(最終)が開催されます。期日までの資料提出をよろしくお願いいたします。

03

3/23 スタッフゼロゼロ発表会

3月23日(木)全拠点でスタッフゼロゼロ発表会が開催されます。期日までの資料提出、発表の準備をよろしくお願いいたします。

加藤社長、伊藤本部長にインドネシアのASMへ来ていただきました。



朝礼にもご参加いただき、ラジオ体操も一緒に行いました！



改善活動発表



改善発表会を行い、日本からのお土産を社員全員に手渡ししていただきました。



ジョイントベンチャー先である SOMAGEDE 様へ訪問し、ミーティングを行った時の様子です。

文：宮崎社長

What's ixi ?

製造業だけではない新事業へ展開

2008年ごろから海外の経営層をターゲットとした国内誘客型の研修で、経営層の講演と工場見学を有料提供するという日本でもまだまだ定着していないサービスをスタートさせていきました。今年で15年目を迎えますがコロナ前は年間4,600名が訪問し、当社訪問と近隣地域での宿泊や飲食等の消費をすることで地域に貢献をしてきました。(当初本社工場からスタートし現在は多度工場・先進工場で見学の受け入れを行っています。)

BtoBである当社の事業形態は多くの従業員がお客様と関わることがなく、(お客様が来社されることは監査などほめられることではなく叱られることが多いです...) 本質的なお客様を意識させることに当初は苦勞をしました。

工場見学の受け入れを通じて、間接的にBtoCが成立し、お客様に魅せられる「綺麗で効率的な工場を創造する意識」や「あいさつ」などへの意識が高まったことは最も大きな効果となりました。このサービスを通じて、外国人従業員は見学対応の通訳をしたり、参加者のアンケートに基づいた新たなニーズの解析に取り組むことで、リピートや口コミによりコロナ禍

(2020年4月～)においてもリモート限定で対応することで昨年度は10,000名の誘客を実現させるなど、外国人の雇用と活用(能力を活かした仕事の創造)成功事例となりました。

この活動で多様な人材を認めて、その能力を活用する事業を検討していくことが、この変革の時代におけるネガティブな取り組みではなくポジティブな取り組みに繋がり、柔軟な発想で経営陣が方針の策定などの決定ができるようになったことが大きな成果と感じています。

見学ウラ話

15年もの間、海外からの見学受け入れを行っていたおかげ(?)なのか、こんな面白い出来事もありました。

昨年放送されたドラマ「silent」でも話題となった人気女優 川口春奈さんが主演された「着飾る恋には理由があって」というTBS系列ドラマに、過去の工場見学で撮った際の写真が使用されています！

トルコの絨毯屋さん風に様変わりしていますが、社長もバッチリ登場していますので、ご興味ある方はドラマで探してみてください！

制服が昔ですね！工場見学の歴史も感じます！



AVEX SPORTS COLUMN

ウエイトリフティング競技・ボクシング競技の2023年年間スケジュールです。
※日程未定のところは、確定次第掲載予定

【ウエイトリフティング】

- ・4月21日(金)～4月24日(月) 全日本選手権 in 山梨県
- ・10月12日(木)～10月16日(月) 国民体育大会 in 鹿児島県
- ・11月23日(木)～11月26日(日) 全日本社会人選手権 in 佐賀県

【ボクシング】

- ・10月8日(日)～10月12日(木) 国民体育大会 in 鹿児島県
- ・日程未定 全日本選手権
- ・日程未定 全日本社会人選手権

応援のほど、よろしくお願いします！！



社長のつぶやき

1/29～2/4インドネシア出張に行きまして。ASM (PT.AVEX SOMAGEDE MANUFACTURING) が設立して以来、初めて現地入りしました。

ASMの良い点をまとめると

- 全従業員のあいさつが元気よく素晴らしい！
- 朝一番徹底してひとふき清掃をし、切粉や油漏れゼロの状態を保っている！
- 朝礼、昼礼、異常の見える化など、コミュニケーションを取る仕組みがある！
- 決めたことを確実に実践する風土が根付いている！

インドネシア市場への参入についても、本体として負けないようにしなければと痛感しました。今後、本体からASMに行く機会をつくり、交流していきたいと思えます。

ASMの皆さんへ
素晴らしい工場だと思います。是非こだわりを持って、インドネシアの従業員と家族の幸せを一番に考え、発展できるよう期待しています。

